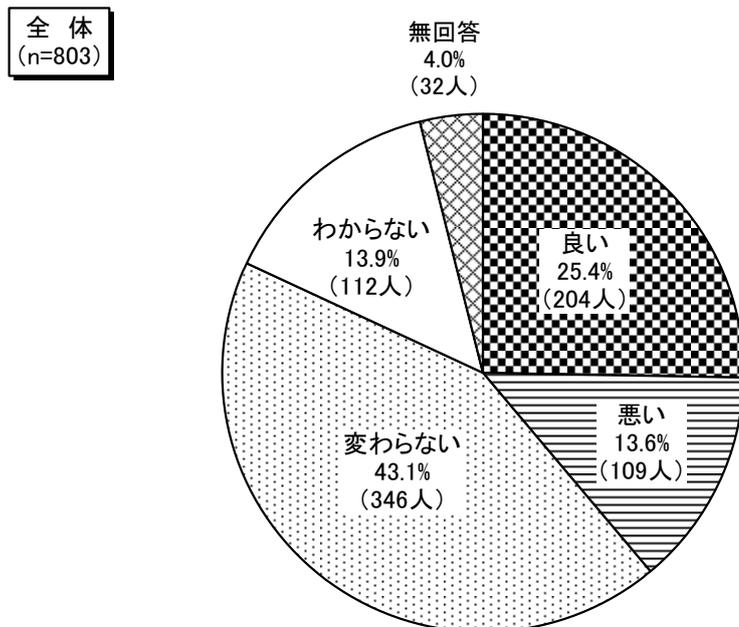


6. 地域社会の安全・安心（治安）について

（1）現在の治安状況

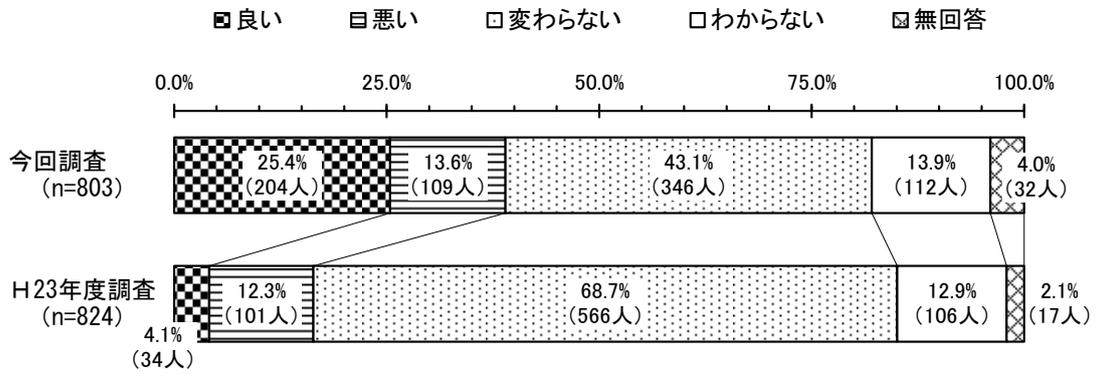
問18 東日本大震災から2年余りが経過しましたが、現在あなたが住んでいる地域（仮設住宅・借り上げ住宅も含む）の治安は良いと思いますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。



現在の居住地の治安状況が「良い」と思う人は25.4%となっている。一方、治安状況が「悪い」（13.6%）と思う人は1割強となっている。また、「変わらない」（43.1%）が4割強となっている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】



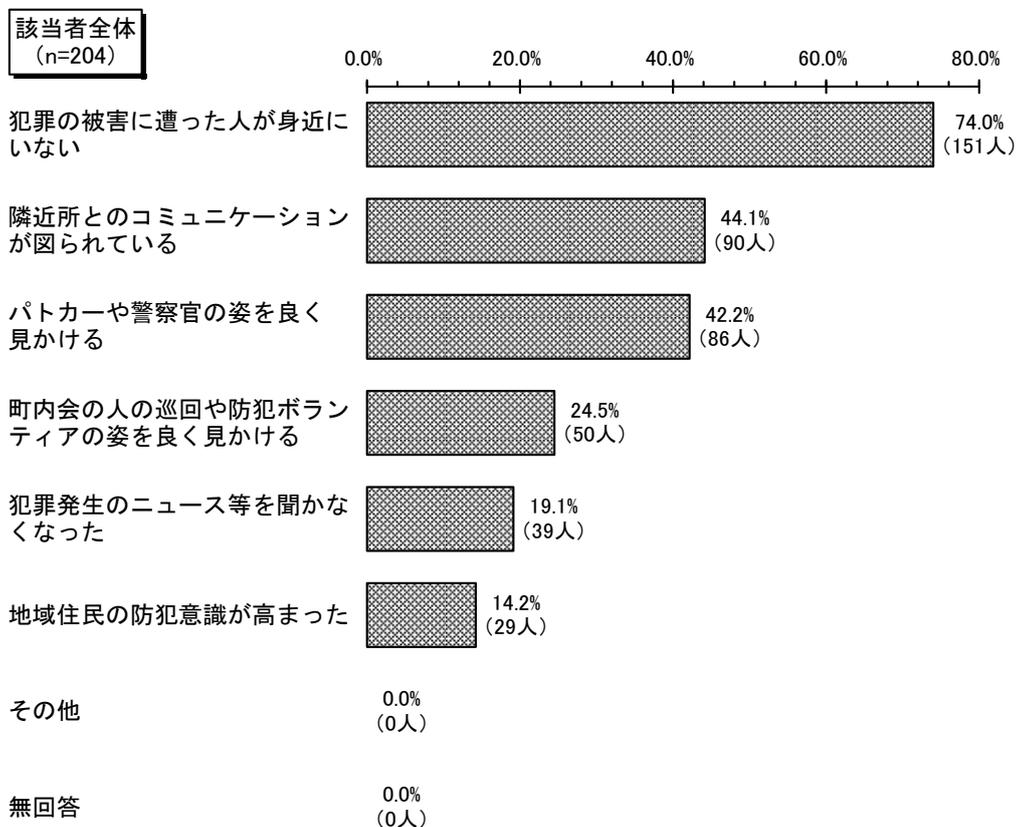
今回調査は平成 23 年度調査に比べて、「良い」の割合が、大きく上昇している。

(2) 治安状況が良いと思う理由

(問 18 で、「1 良い」とお答えの方にお尋ねします。)

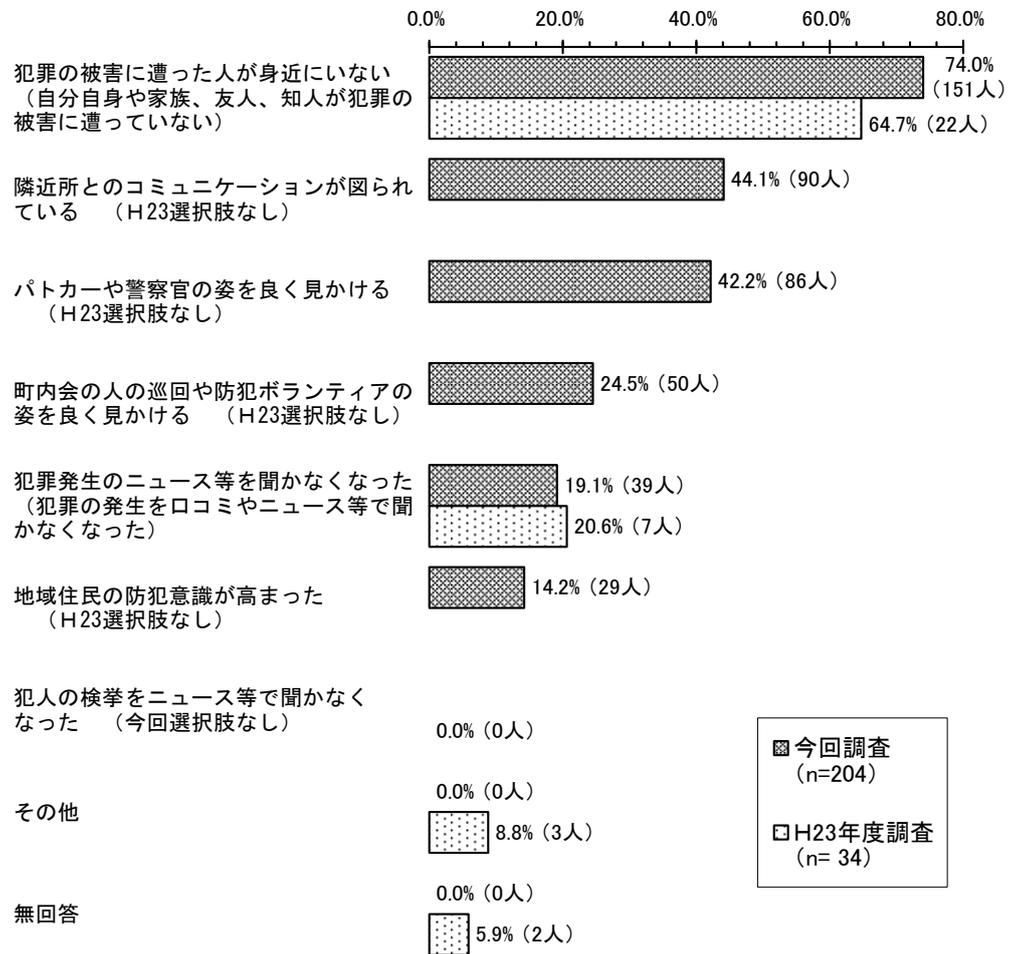
問 18-1 良いと思う理由は何ですか。

あてはまるものにもいくつでも○をつけてください。



治安状況が良いと思う理由は、「犯罪の被害に遭った人が身近にいない」(74.0%)が最も多く、7割強となっている。以下、「隣近所とのコミュニケーションが図られている」(44.1%)と「パトカーや警察官の姿を良く見かける」(42.2%)が4割台、「町内会の人や巡回や防犯ボランティアの姿を良く見かける」(24.5%)が2割台で続いている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】



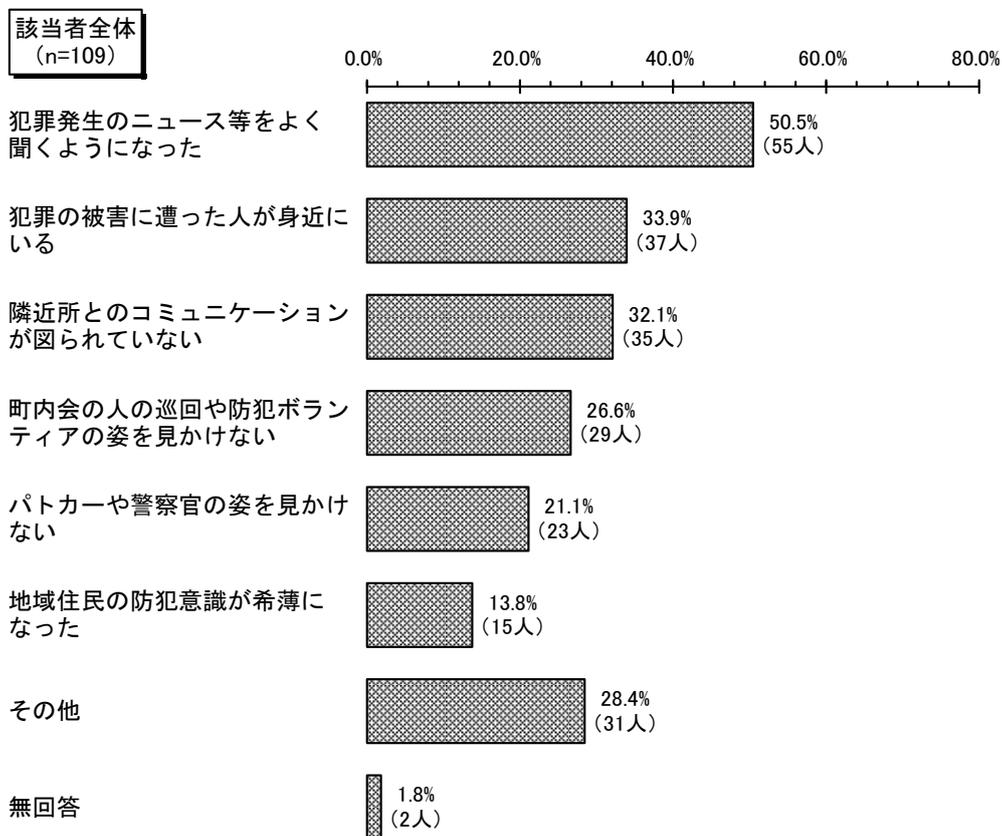
※今回調査は複数回答、平成 23 年度は単数回答、また選択肢も異なるため、図のみの掲載に留めた。

(3) 治安状況が悪いと思う理由

(問 18 で、「2 悪い」とお答えの方にお尋ねします。)

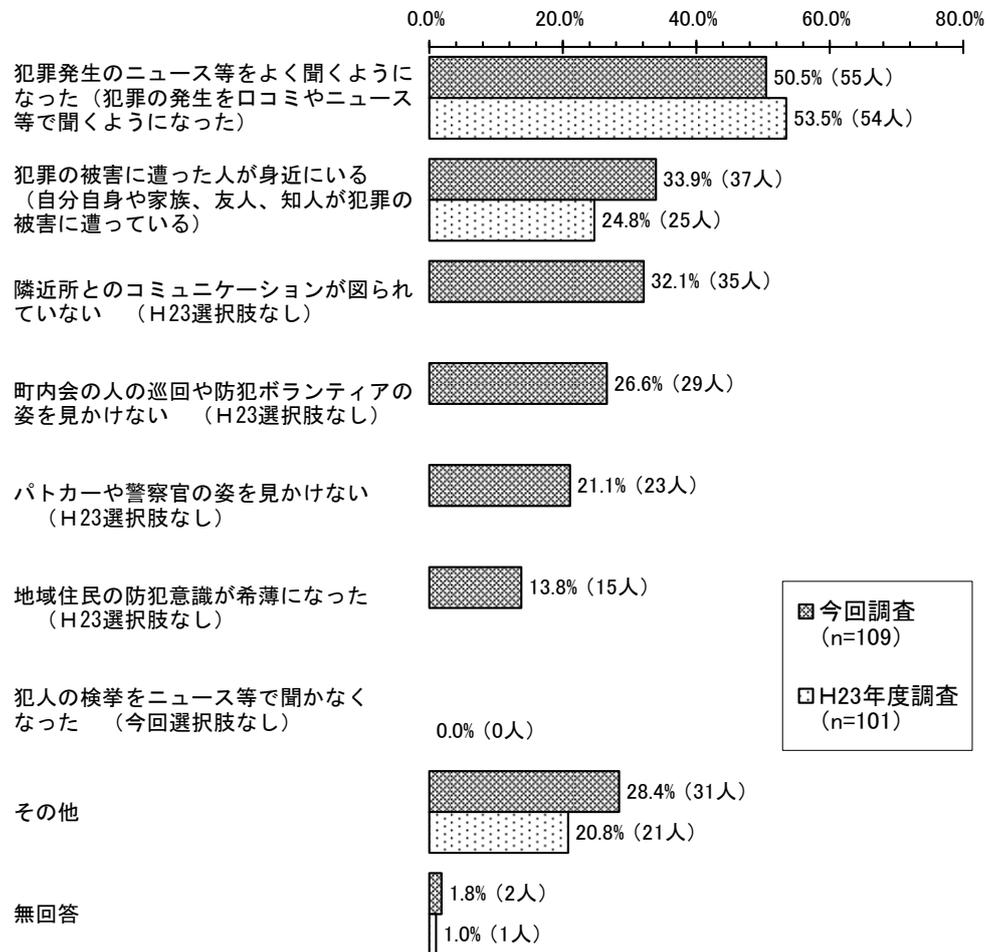
問 18-2 悪いと思う理由は何ですか。

あてはまるものにもいくつでも○をつけてください。



治安状況が悪いと思う理由は、「犯罪発生のニュース等をよく聞くようになった」(50.5%)が最も多くなっている。以下、「犯罪の被害に遭った人が身近にいる」(33.9%)と「隣近所とのコミュニケーションが図られていない」(32.1%)が3割台、「町内会の人々の巡回や防犯ボランティアの姿を見かけない」(26.6%)と「パトカーや警察官の姿を見かけない」(21.1%)が2割台で続いている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】

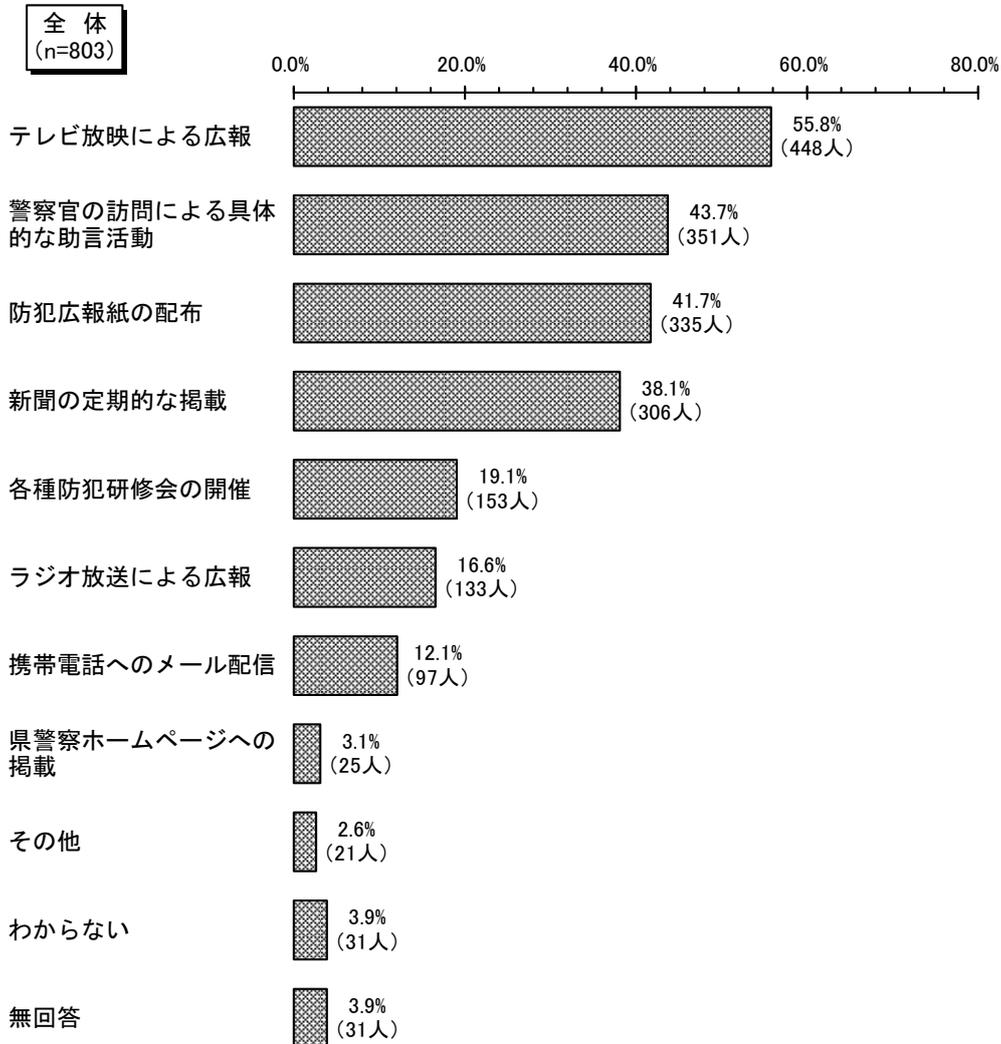


※今回調査は複数回答、平成 23 年度は単数回答、また選択肢も異なるため、図のみの掲載に留めた。

(4) 犯罪の発生状況や防止方法等の情報の提供手段

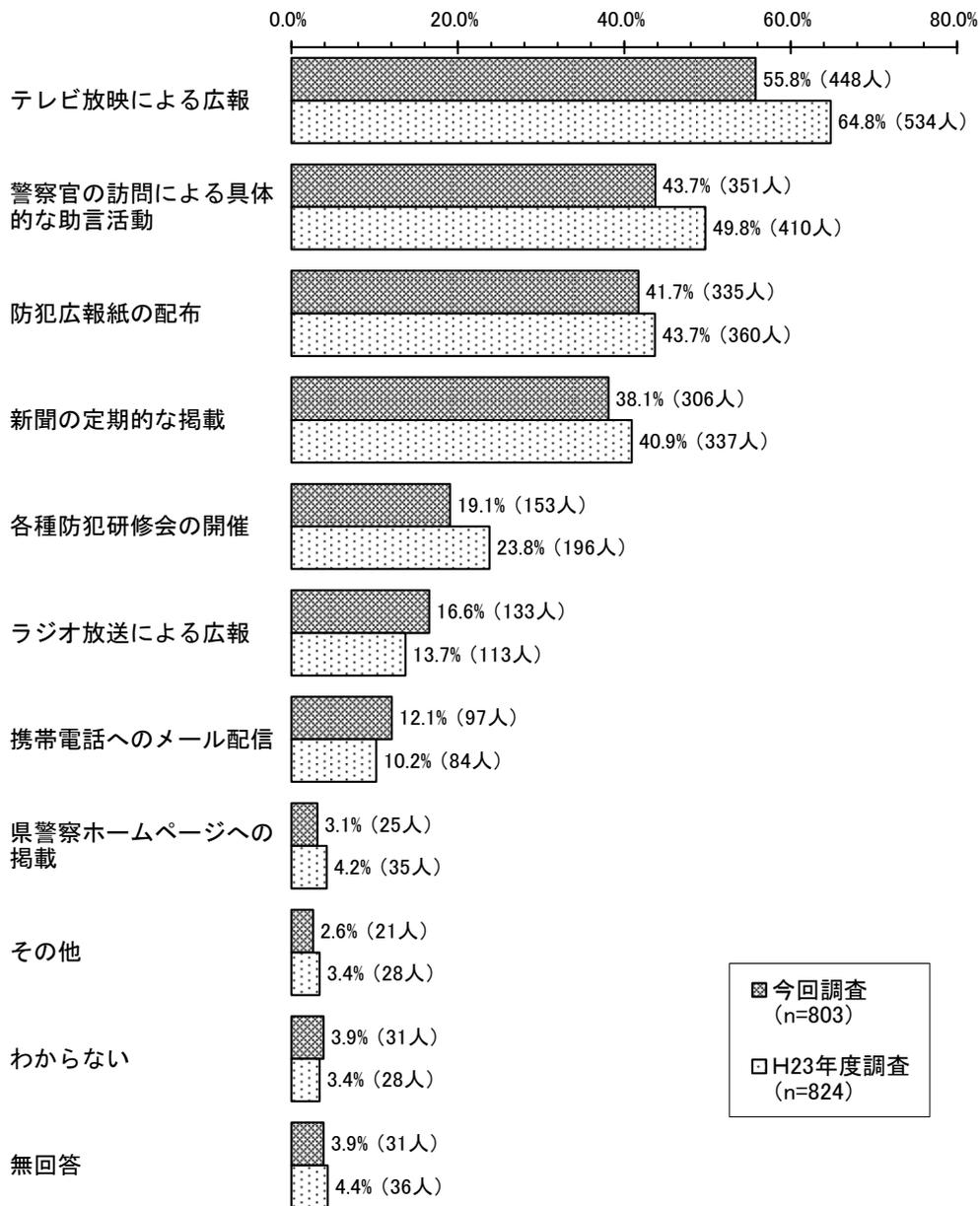
問19 犯罪の発生状況や犯罪を未然に防止する方法等の情報について、どのような形で提供されるのがよいと思いますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



犯罪の発生状況や防止方法等の情報の提供方法については、「テレビ放映による広報」(55.8%)が最も多く、5割を超えた。以下、「警察官の訪問による具体的な助言活動」(43.7%)と「防犯広報紙の配布」(41.7%)が4割台、「新聞の定期的な掲載」(38.1%)が3割台、「各種防犯研修会の開催」(19.1%)、「ラジオ放送による広報」(16.6%)、「携帯電話へのメール配信」(12.1%)が1割台で続いている。

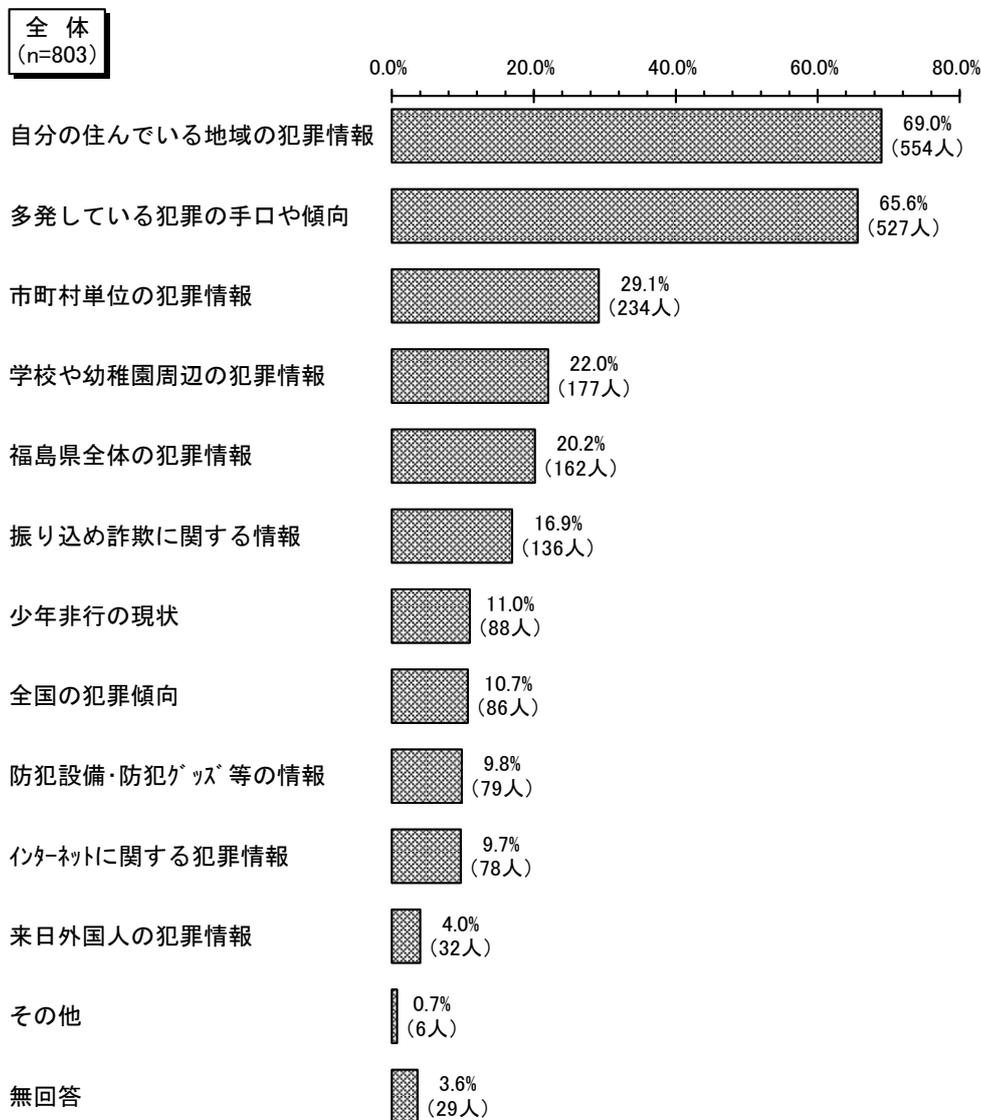
【参考 平成 23 年度調査との比較】



今回調査、平成 23 年度調査ともに回答数の多い順位は同じであるが、ほとんどの項目で平成 23 年度調査よりも割合が低下している。

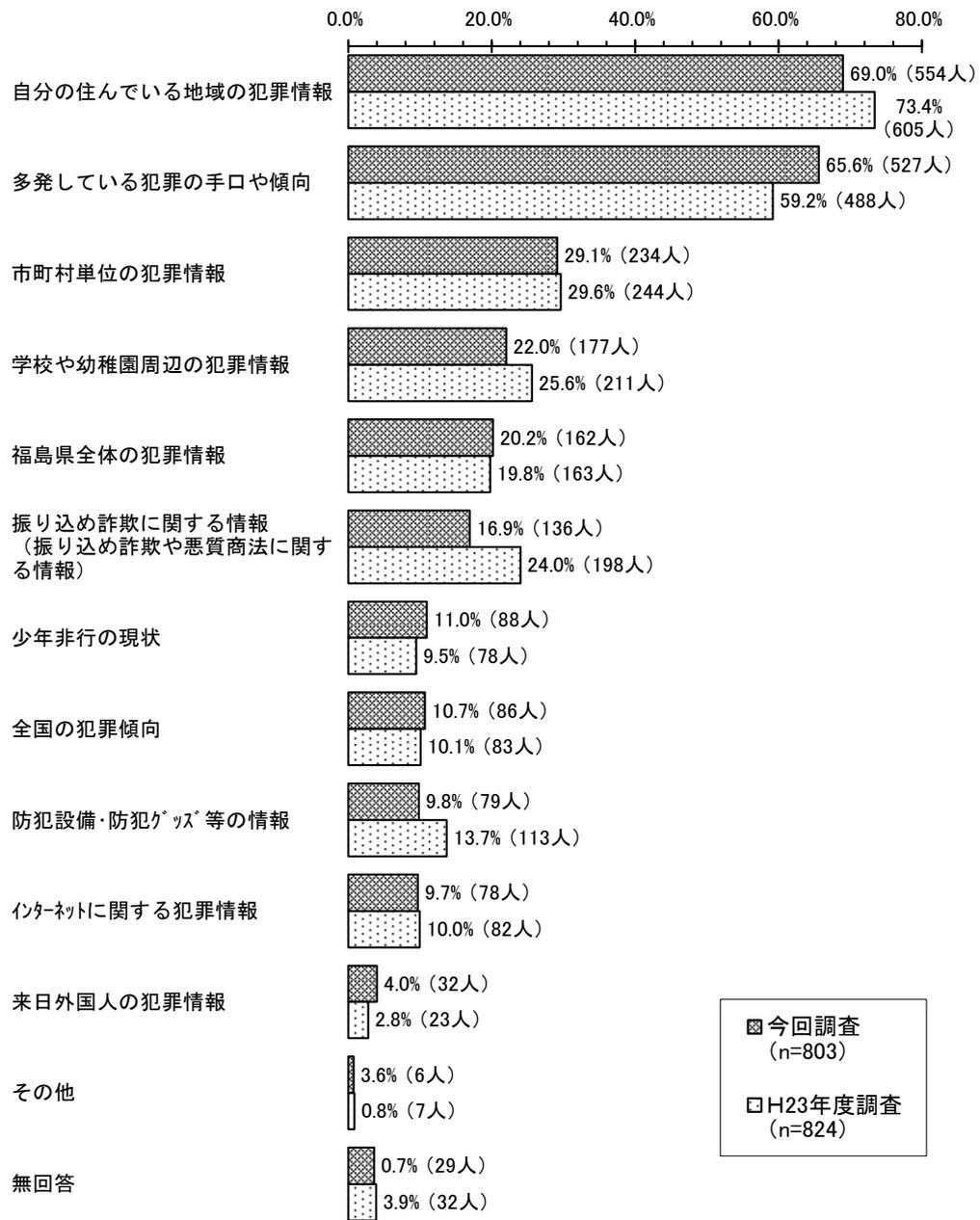
(5) 犯罪に関して知りたい情報

問20 犯罪に関するどのような情報が知りたいですか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。



犯罪に関して知りたい情報は、「自分の住んでいる地域の犯罪情報」(69.0%)が最も多く7割弱となっている。次いであまり差がなく、「多発している犯罪の手口や傾向」(65.6%)が6割台が続いている。以下、「市町村単位の犯罪情報」(29.1%)、「学校や幼稚園周辺の犯罪情報」(22.0%)、「福島県全体の犯罪情報」(20.2%)、「振り込め詐欺に関する情報」(16.9%)の順となっている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】

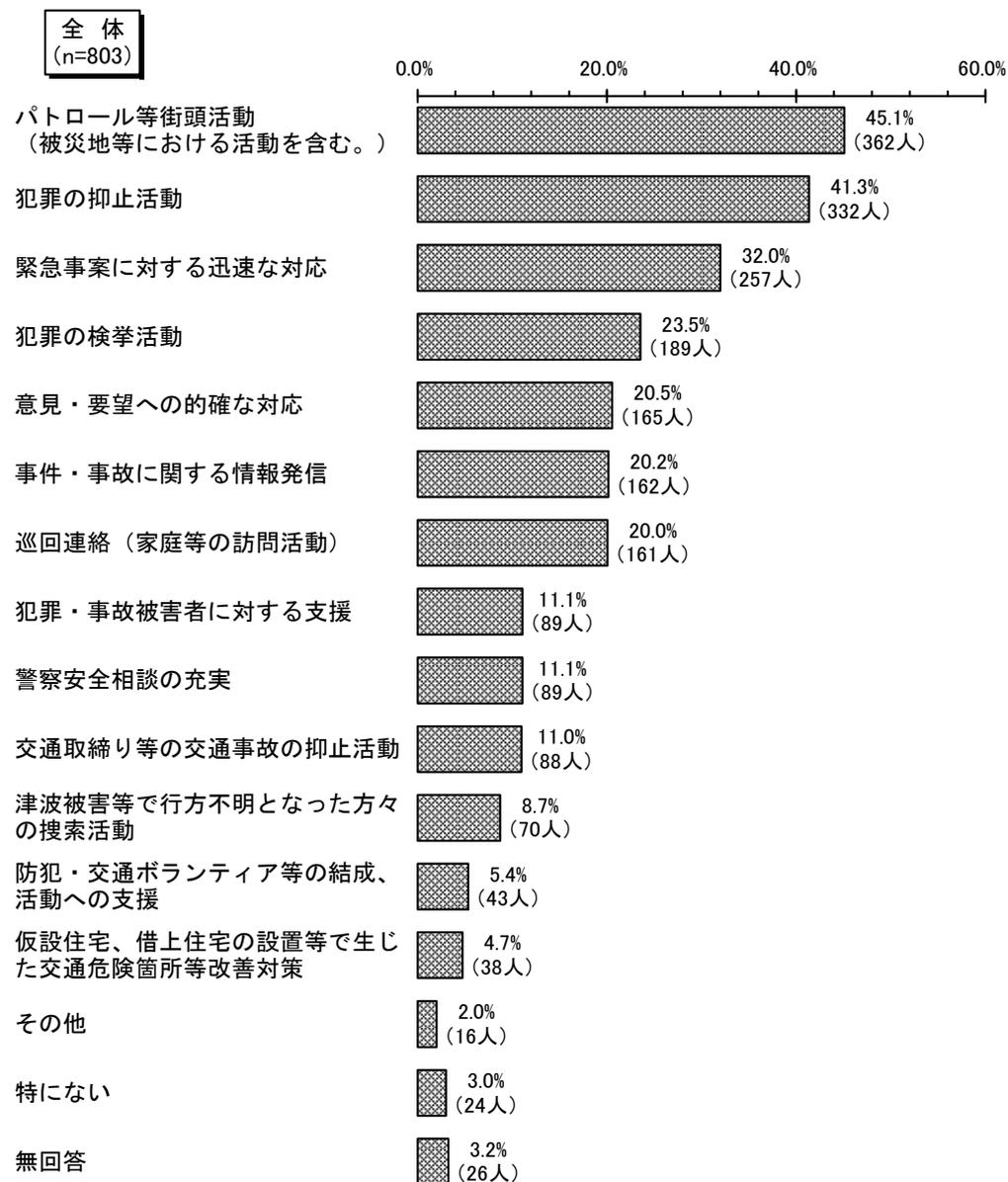


今回調査は平成 23 年度調査に比べて、「多発している犯罪の手口や傾向」の割合が上昇し、「振り込め詐欺に関する情報」の割合が低下している。

(6) 警察に強化してほしい活動

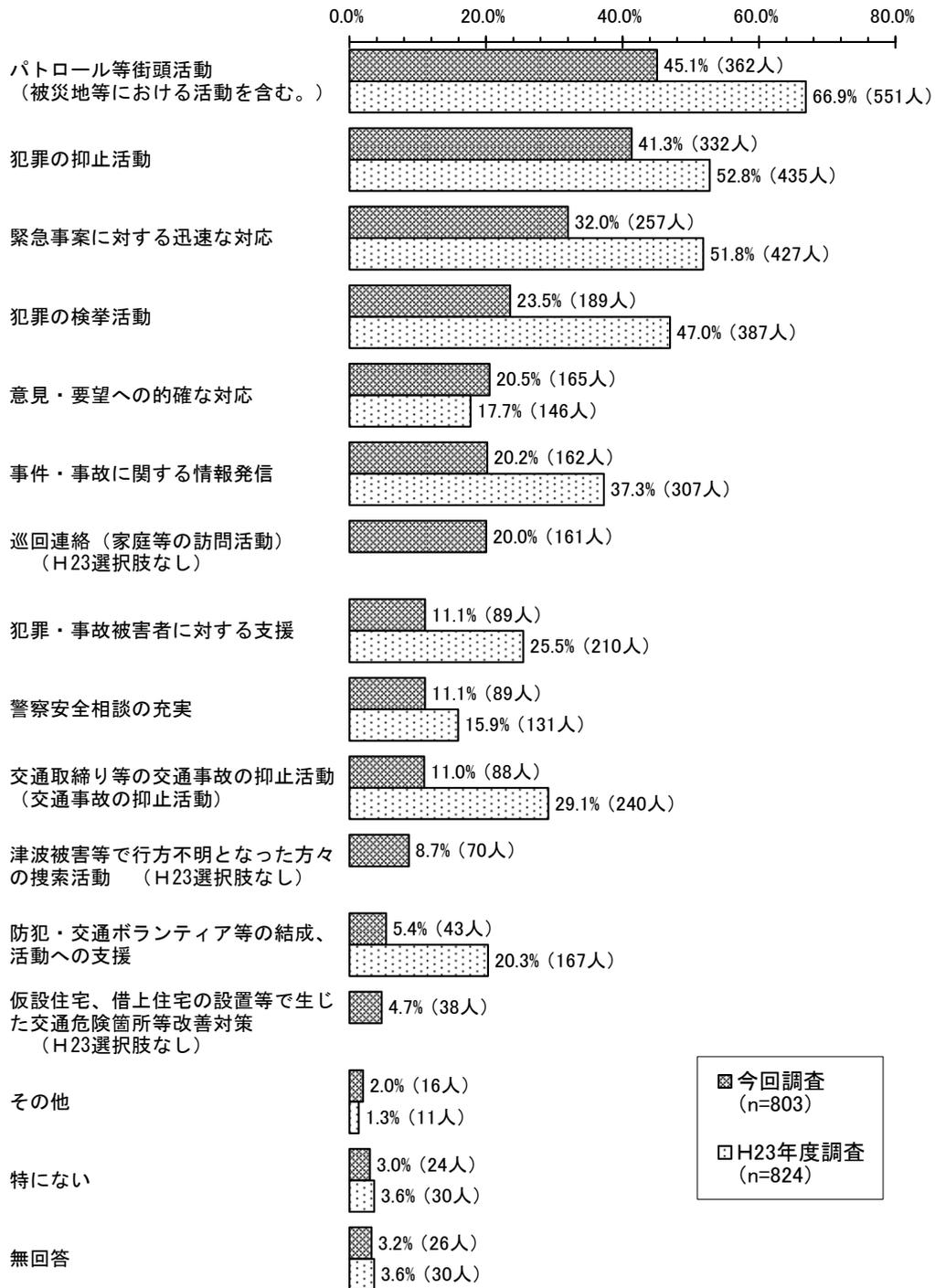
問21 震災から1日も早く復興し、安全・安心な地域社会をつくるため、警察にどのような活動を強化してほしいと考えますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



警察に強化してほしい活動は、「パトロール等街頭活動(被災地等における活動を含む。)」(45.1%)が最も多くなっている。以下、「犯罪の抑止活動」(41.3%)が同じく4割台で続き、「緊急事案に対する迅速な対応」(32.0%)が3割台、「犯罪の検挙活動」(23.5%)、「意見・要望への的確な対応」(20.5%)、「事件・事故に関する情報発信」(20.2%)、「巡回連絡(家庭等の訪問活動)」(20.0%)が2割台、「犯罪・事故被害者に対する支援」(11.1%)、「警察安全相談の充実」(11.1%)、「交通取締り等の交通事故の抑止活動」(11.0%)が1割台となっている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】

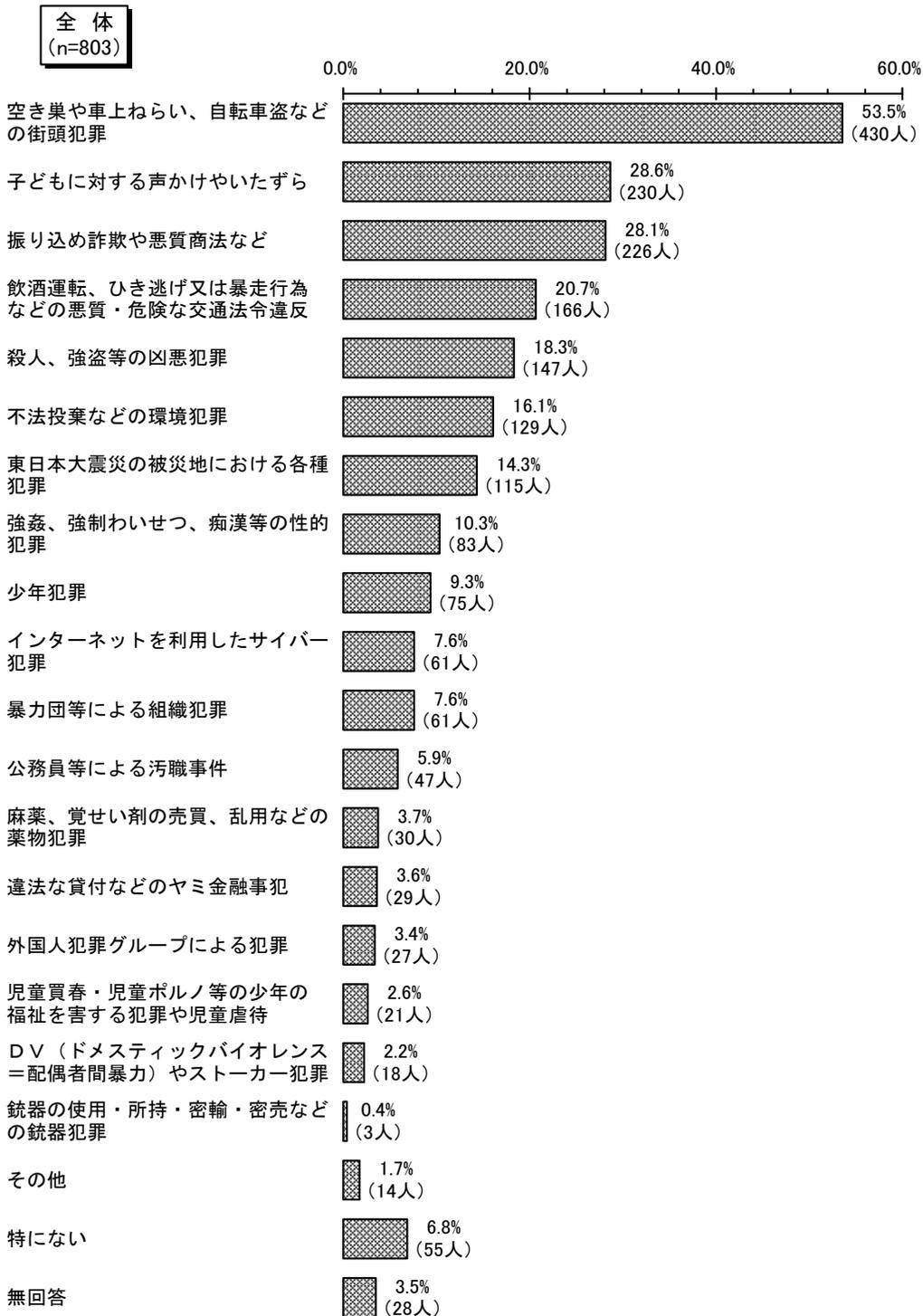


※今回調査と平成 23 年度調査では回答選択数が異なるため、図のみの掲載に留めた。

(7) 重点的に取り締まってほしい犯罪

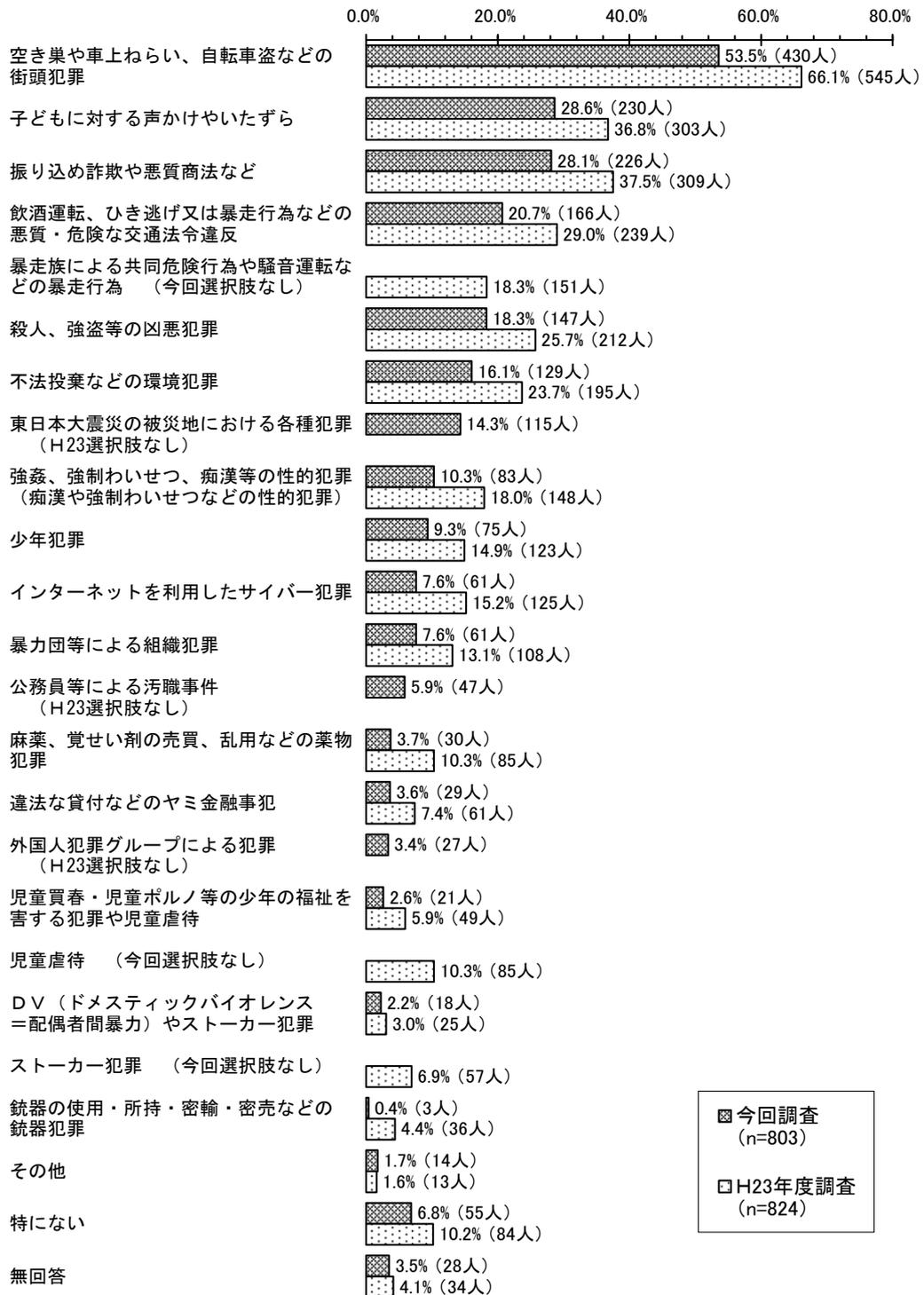
問22 現在お住まいの地域で最も不安を感じ、今後重点的に取り締まってほしい犯罪は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



今後重点的に取り締まってほしい犯罪は、「空き巣や車上ねらい、自転車盗などの街頭犯罪」(53.5%)が5割強で最も多くなっている。以下、「子どもに対する声かけやいたずら」(28.6%)、「振り込め詐欺や悪質商法など」(28.1%)、「飲酒運転、ひき逃げ又は暴走行為などの悪質・危険な交通法令違反」(20.7%)、「殺人、強盗等の凶悪犯罪」(18.3%)、「不法投棄などの環境犯罪」(16.1%)、「東日本大震災の被災地における各種犯罪」(14.3%)、「強姦、強制わいせつ、痴漢等の性的犯罪」(10.3%)が続いている。

【参考 平成 23 年度調査との比較】



※今回調査（重点的に取り締まってほしい犯罪）と平成 23 年度調査（最も不安に感じる犯罪）では設問及び回答選択数が異なるため、図のみの掲載に留めた。